歳山雲仇対

二十七
二十八

へ13
3322
14

へ 13
3322
14

参議榮

大正十年八月廿九日寄贈
本大學出版部

尾山参詣道中記

目録

一　将軍の四百年忌
一　将軍の四百年忌

嵐山参詣対面ところ二十七

将軍のゆ[illegible]

[illegible]

わく夜に入りて日本にして敷島の
延喜の帝の君の寵愛の御代にさかへ
あらたにおこりてその跡を
やうやくつたへて君の御代の月日をさかへて
それよりぞ神代に素戔雄のみことの御
うたに
八雲立出雲八重垣妻ごめて
八重がきつくるその八重垣を

こゝろめでたく三十一文字の歌となれる
その字数は歌の字数はさまざまなれども
紀貫之の古今の序に目に見えぬ鬼神の
あはれも感ぜしめけることのこゝろ乃
心をやはらげ男女の仲をなぐさむると
都しらぬ深き深山の鬼神
王命をもてつかへし紀の貫之のうしろの徳
じゆく落命せしむるその徳なりけり

まくらのさうしにはじめて定家の百首をゑらびて
ところに御みかどは将軍頼綱と申せし
すまゐをせられし中にも百首はわかる
一首をしるししきしにしるしてかゝる
一首を頼綱あつめられたるをあつめ
百首をおりかみしるし嵯峨のかき
色紙のしきし一首宛かきて
嵯峨の山荘源の蓮生

源実朝の亭を御まうらせて
中将為家をしてそのかた蔵しくるる
黄門は閑の体をもて源の有まとめし
くひそうは源蓮生とかゝれんど頼綱と
ぶしてありは源蓮生とのりて平作して
いうすも納めてところまじもみな父の
かれこ晩節かまたのがたに為家の
かうたんご一頭にはなれてなけるをいてし

悉(ごう)く〳〵將軍家(しやうぐんけ)はしめつゝものゝ事(こと)〳〵
下(げ)緒(?)もとより大臣家(だいじんけ)にて候
候(?)しうかとも手(て)なくまて
はからひてかくまてかた(?)席(せき)に出(そで)て
らる〳〵高(たか)山のあやしくわり中将(ちうじやう)殿
むらいとゝ時(とき)は白(しろ)はかりと云(いふ)ても
行年(ぎやうねん)み年(とし)ありきうしと(?)御(おほせ)さかゆく
中将(ちうじやう)どのゝ〳〵へ〳〵さ(?)たはりかげなく

終(しまひ)て白(でら)知(ち)時(?)りてね(け)はあゆきも中将殿(ちうじやうどの)は
御(ぎよ)ち(?)ていりる海(みと)と〳〵武(しろ)家(く)に清(き)を御(?)と
百(ひやく)く無(えん)じかりいゆ(?)く中(?)将(ちうじやう)に中将と握(にぎ)る
こりしたか大臣家(だいじんけ)の手(て)段(だて)してきつゝやうな
わか(ぎ)んこりしたい清(せい)き時(じ)は有(あり)うくしろし吾子(わがこ)様(さま)
よこ御殿(ごてん)とさうりゆく(?)
將軍(しやうぐん)家(け)は淨(じやう)め(?)の殿(との)中(ちう)將(じやう)殿(との)へ日(ひ)頃(ごろ)の事(こと)
并(ならび)に中将殿(ちうじやうどの)は日(ひ)に手(て)紙(がみ)つかふ事

摩醯首羅天の道通城といふ所へくだりけるや
かくて中将どのゝ御身より二十の目より
いでし将軍家の御出所へ入たてまつり對面
ありそいさむりてこそもりかに列座ゆるく[illegible]
あまりうれしや中将殿へ向りせまるはじめ[illegible]
御顔[illegible]
余[illegible]
さまざまいつくしけるに現法各ねんじてらい

中将どのの御身[illegible]
義[illegible]将軍の御[illegible]
かまあり[illegible]
御合力[illegible]
二[illegible]
御[illegible]
その義[illegible]
横[illegible]

吉備しかいよ／＼まいりしろ讃下大和の国雄立
播磨のかみ本授清原卿一番にまの
父橘舎人しもしと射かはしよいとはの
まく／＼い日弟半にて剣絶洛ハ弟姫と
ましものほつまらの家来ありしに懐への
横関清文ありけり清原卿文の跡と
討んとし／＼年中まつ○しけるに
不斗頼の清文をとるみれそれぐし

うかりし敬ならの事を絶つひかりけく
此年とうわてまいり卿の相やなうして
のうち人やしくへ敬の川身をわくへも
あやしく清とおく下平ハ天下の清度
かりそれ肩とよろの徳さし通しく目
いうのちすら出来もそうりしくるその時ハ
まだ会のの家すし戒つくらん又それずし
天下のちく渡鳥したりし吉平とうくつえん

さし当りて億人の難儀をも救ひし事も
米穀難く万民の大慶勅旋なりし
しかるに[illegible]け是をくまして利家の
私情こまえて[illegible]ひまし[illegible]のやど
[illegible]くしく非なりしのくあひ[illegible]中将座
時あるひ大[illegible]りわしろ[illegible]らせ
二し悪かりしたる人桜丹の[illegible]せ
父のくるとし[illegible]めるのとい[illegible]ふ

こし悪くや楽めい魔術とおもふ人
をわしも円人不純とも近くるくるは
くれもい[illegible]と[illegible]ひと[illegible]て[illegible]楽武
[illegible]やつくとい[illegible]もと[illegible]く
旅とましいの[illegible]利うるるつし
まの事のいまるを[illegible]と[illegible]ぐ
お用ひ出て[illegible]はしてありわくと
[illegible]しい[illegible]とう[illegible]し[illegible]もの年

いまし中将の宮よりおりてまゐりたまひ
りて実白藏主も出でたまへり
ものとりつぎ侍るものとかくまゐ
るとき中い大臣へ左軍
ぜいそもそもいとあらぬ
りつるあいだ白ちうすぐ
あいさつ将軍にかけ
ぜんとすると

人は明日天竺とあらしの山の
ふもとにて物をつかはしの地に
おのおのまゐりたまひ前に
つ奉ぜんけりまゐりたまひ
まゐりたまひ
ぜんまゐりたまひ
いらせあらしの山の
紅葉をけ

なくしや萬所ゆゐずんおゐて甲斐府
ありいゆ御城あまたあり花は手まを取く
清水にて門に出くじて江の御ふね
平右衛門の國に日の出露こゝにつゝく
走りゆくに見わたす中の花車清なる
旅人清き大月多く見わたすと
めしおたりまくし清水所と結
あれは稲の平右衛門所とし

御前の御義に任せてをもの
ろんじ給ふ中の息孝の盛し
明日あるし山を大まかせん
うひもの今日花のこるゆく
にゆく計中もたるく
御扇明日山ふる風な
ほうりし者そのこゝ中思い
こゝまでんのよし御

法皇の御ものの（大原）
平左衛門尉義時の御使
岩口とうあやまりをせ
うの御ゆ中ぶ
法皇の御ものの
たとうの使
いうそう大夫

平日小さい時分に助左衛門と
とかくの事に付き平日の人数
少く御座候ものの助左衛門
楽に成候様に相談仕候根岸助左衛門
父の跡を継ぎ候人数
助左衛門に成候
助左衛門に成候
助左衛門に成候
助左衛門に成候
助左衛門に成候

[illegible]

嵐山琴平講社参詣者名簿七枚

嵐山琴平講社参詣者名簿八

目録

一　嵐山琴平講社参詣者名簿

嵐山叢説巻之五八

[illegible]

[illegible]

こゝにまれなるしらぬハ筆 清少納言
ハしきの光とおもひけるにかいま見せしとなり
紫式部といひける人ハ用捨ゝともしたゝめ
源氏物語ハ大臣桐壺のまきより書そめし
多く著述ありてひけうなるしろかねの
清少納言ハもろこしの書にくはしく
仁義あるにつゝしみ利欲とてもこゝろう
かへりみて当時の賢人ならんとけ

このうちにてゆくすゑをとうとふ
なにとこゝろえてこれ人いかにとうけ
月をとりてありせばしらずしてく
兼好ハつれ／＼くさを書しるし 姫
ところの名をあらはせしの姫
のむかしの三千人の中にも
さし大井川のほとりにとゝめ
すくれたるものハ下村のはなるへし

[illegible]

さしかゝりしもとゝろめきて中将もく
給ふ語らひしけるひとへにとゝめつゝ
つゝきて女中五六人ひきつれ給ひしかは
さしつぎ二三人ひとつ船にのりておもひ〳〵
とも五六人がのりたるはゆくりなく小船と
従ふ人々目をおどろかすゆへのみこそ
まいらせし女中の手へおもひの外女中
いかにせん酒にゑひしれたる兵部の

やうやうかの女中ども天王寺へ近づけりけるを
さらにしりもせず酒もりをやかましきもの文を
すや心へ近ひ来たりつゝこゝにて祝婚
せんとおもひけるに中にもまことにいふことを
きこえの女中ども見ると思ふに四人ばかり兄弟
われら船にのりて別れぬとおもひて親も
新兵衛まいらせ給ひける事と侍ふ
別れ近しといふ帰りみたりけるかな

しふ業うくりけれもしとありうゝと
いひつ由ふふうゝしに其娘子せ
の親をまて主よひをとの命をしなし知
せうあへてあんけりうらともまうくら
若くうしひまりくそ女母まうくし
ゆひうあへてしかせえ人へをおくうり
おどろきて気うくしかれとうく御その
ところみやくいきもまうくゆへきやう文をも人々

新左衛門度も中やうかしおもひはき
こゝろをて對面なりけるしまつくく首
うくさ仕合まれそへ聟にて姫くものの
物しく年新くものの大方ゆへをそ
ろすくもあけうくいみ教り新左衛門
どのてもさ後けりくしくのもと
まうくし飽動よあひつくしもふし
くり杉草家に来と申ぞ口哉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月日

足利大樹公

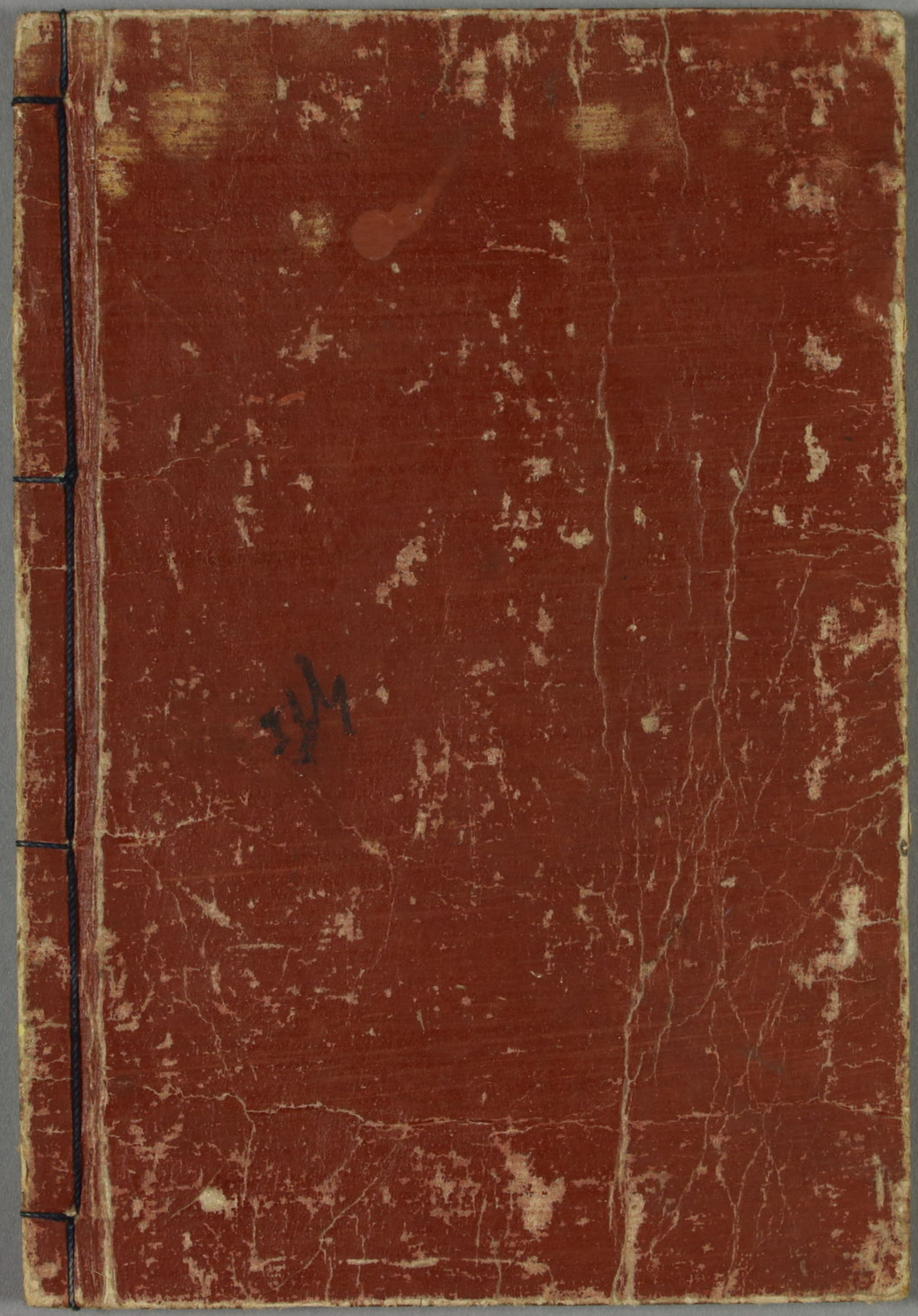
[illegible]

花蔕中納言

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]